

## 1 総 則

### 1.1 一般

本要領（案）は、鋼げた橋のプレキャストPC床版に対して、良好な施工品質を確保する上で、製作、輸送および現場施工の各段階で行われるべき施工管理の要領について記述したものである。

本要領（案）では、主として鋼げたにプレキャストPC床版を組み合わせた形式に特有の事項を中心に規定しているため、コンクリート構造物の施工に一般的な事項のすべては網羅されていない。したがって、本要領（案）に記載のない事項については、関連諸基準の施工管理に関する規定等を参考にして適切な施工管理を行わなければならない。

本要領（案）は、「PC床版施工マニュアル（案）」を適用して行われる鋼道路橋のプレキャストPC床版の施工において、施工完了時点で確実に良好な施工品質を確保するために、施工の各段階で必要な手続きが確実に実行されていることを確認する方法および各段階で可能な品質検査について記述している。

すなわち、「設計で前提とした良好な施工品質を確保するためにはどのように施工管理が行われることが本来必要であるか」を客観的かつ網羅的に記述したものが本要領（案）であり、プレキャストPC床版の施工において良好な施工品質を保証するためには、これらの全ての項目が何らかの形で実行されることが原則である。

したがって、実施工にあたっては、本要領（案）の内容を十分に理解した上で、目的が達成できるよう、契約形態や関係者の技術力などの条件も考慮して検査項目、方法、頻度および各項目の具体の行為者などについての実施要領を個別に定める必要がある。

なお、本要領（案）は、あくまで適切な設計が行われたプレキャストPC床版の施工について記述したものであり、施工品質が確保できるよう設計において必要な配慮がなされていないプレキャストPC床版は対象としていない。本要領（案）の適用にあたっては、巻末に示した「設計上配慮すべき事項」を満足する適切な設計がなされた床版であることをあらかじめ確認しておかなければならない。

## 1.2 適用の範囲

本要領（案）は、鋼げたで支持されたコンクリート床版のうち、以下の(1)から(5)を満足するものの施工管理に適用する。

- (1) 鋼げたとコンクリート床版の合成作用を設計上考慮しないPC床版。
- (2) 床版支間方向に対してプレテンション方式でプレストレスされたPC構造であり、床版支間の直角方向（車両進行方向）に対しては鉄筋コンクリート構造となっている一方PC床版。
- (3) 床版相互の接続部に、RCループ継手構造を有するプレキャストPC床版を場所打ちコンクリートで一体化するPC床版。
- (4) 鋼げたとの接合部にはハンチがあり、スラブ止めに頭付きスタッドに準じた形式のものを採用したPC床版。
- (5) 鋼I形断面の主げたと組み合わせられるPC床版。

本要領（案）は、プレキャストPC床版と鋼げたの組み合わせのうち、設計・施工の方法について既の実績があり、その妥当性がある程度検証されていると考えられるものの施工管理の方法について記述している。

適用の範囲と準用の考え方については、「プレキャストPC床版施工マニュアル（案）」に準じる。

### 1.3 用語の定義

(1) 施工要領書	実施工に先立って作成する施工に関する要領書であり、製作要領書や架設計画書等の総称である。これによって事前に設計の前提とした諸条件が満足される施工が行われることを確認する。
(2) 品質規格証明書	鋼材のミルシートやスパーサの品質規格書など、使用材料の所定の規格を証明する添付書類
(3) 間詰め部	プレキャストPC床版相互の接続部の場所打ちコンクリート部分をいう。
(4) 接合部	プレキャストPC床版と鋼げたとの接続部。
(5) RCループ継手	間詰め部においてプレキャストPC床版相互を一体化するために用いるためにプレキャストPC床版に設けられたループ状の鉄筋継手をいう。
(6) シールスポンジ	間詰め部のコンクリート施工時およびハンチ部の充填モルタル施工時にコンクリートまたはモルタルが漏れないようにプレキャストPC床版のあご部先端およびハンチ部小口下縁に設置するシール材をいう。
(7) ソールスポンジ	接合部の充填モルタル施工時にモルタルが漏れないように主げた上フランジ面に設置するシール材をいう。

ここでは、本要領（案）で用いられる用語のうち、プレキャストPC床版特有のものおよび本要領（案）で特別に一定の意味をもたせて用いられている用語について定義した。

## 1.4 プレキャストPC床版の施工順序

### 【要求】

プレキャストPC床版の工場製作および現場施工にあたっては、所要の品質が得られるよう適切な施工順序によるとともに、工程の各段階において品質確保に十分な配慮が行われることを確認しなければならない。

### 【具体的方法】

各工種相互の関係を考慮し、各施工段階において所要の品質が得られる施工手順で施工されることを以下の①および②により確認する。

- ① 施工要領書により施工手順を確認する。  
時期：製作または施工着手前
- ② 実際の施工が施工要領書に従って行われているか確認する。  
時期：施工期間中随時

本要領（案）では、図-1.4.1に示すプレキャストPC床版の施工手順を前提とした。

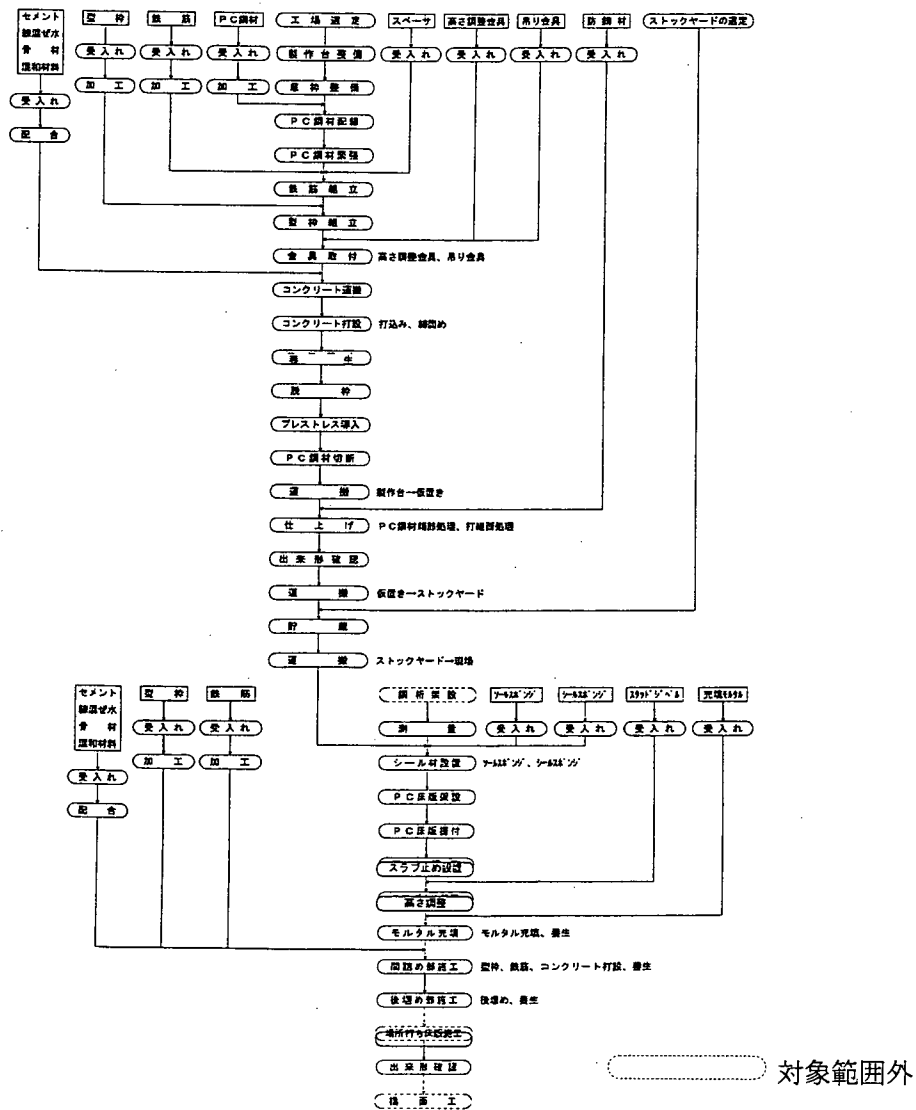


図-1.4.1 プレキャストPC床版の施工手順